

NEWS LETTER 遊文通信

2013年7月発行

VOL.

26



文
月

遊文舎の社内でのフォロー体制を強化するべく、このたび入社した新人を紹介いたします。
OA 機器の営業経験もあり力強い即戦力です。ご期待ください！

Q 1. お名前は？

石橋 清香（さやか）です

Q 2. 好きな食べ物はなんですか？

卵、卵料理

Q 3. 休日の過ごし方は？

買い物したり、家には殆どいません。最近は山登りをしています（目標は8月に富士登山）

Q 4. 好きな男性のタイプは？また、それはどうしてですか？

自分の意見をはっきり言える人。私がはっきりした性格なのでナヨナヨされると。。。

Q 5. ニックネームは？

いままでの会社の人には、「ばっしー」

Q 6. 遊文舎に入社して一番驚いたことは？

服装がラフすぎてビックリ!!

Q 7. 将来の夢は？

立派な主婦になること。お掃除・洗濯・料理を極める

Q 8. 遊文舎に入社したきっかけは？

転職サイトの写真にアットホームな雰囲気があったため

Q 9. マイブームを教えてください

食→大葉。

Q10. 趣味はなんですか？

バイクに乗ること（スズキ デスペラード400）

Q11. 特技はありますか？

空手。20歳から始めて、去年黒帯を取得しました

Q12. あなたの性格を一言で言うとか？

さっぱり

Q13. 長所を教えてください

何事も前向き＆最後までやり遂げること

Q14. 遊文舎で成し遂げたいことを教えてください

DTP エキスパート、一発合格

Q15. 最後にひとこと

遊文舎に骨をうずめる覚悟で頑張りますので、よろしくお願いします！

お客様と営業をサポートする
強力な新メンバーです！



編集後記

年に1度、7月7日は、天の川を渡って織姫と彦星が会える日。どうして年に1回しか会えないのでしょうか？織姫と彦星は夫婦になってから、仕事もせずに天の川で遊んでばかりいたので、天帝によって引き離されたという伝説がありますね。猛暑が続く毎日、灼熱の満員電車で揺られていると、仕事を放り出して川で遊びたい気分には共感できるような気がします。

6月20日をもって、私ペーやんは退職し、渡米することとなりました。紙とトナーで変化する「オンデマンド印刷」の面白さ、その奥深さや魅力に私自身が惹かれ、みなさんにお伝えするのが私の楽しみでした。次号からは後任の編集長となりますが、さらに良い遊文通信をお届けできるように工夫を重ねてまいります。これからも、遊文通信をどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。（ペーやん）



株式会社

遊文舎

大阪市淀川区木川東4丁目17-31

TEL : 06-6304-9325 (代) FAX : 06-6304-4995

☑ 今月の紙 ☑

ニューVマット / (76.5kg)

<http://www.yubun.co.jp/>

「本郷さんに出来ひんことは、遊文舎ではできひん。」 そんなこと言われたら、「よっしゃやったろ。」って気になるよね。

33年間、遊文舎で汗を流し、印刷の歴史や進化を肌で感じてきた本郷業務部長にとって、印刷とは、そして遊文舎とは、いったいどんなものか聞いてみました。

今から33年前の1980年、絵を描くのが好きだった本郷さんはデッサン教室に通っていた。そこで偶然出会った人が、現遊文舎の三宅専務の友人だった。「グラフィックデザインを仕事にしたい」という願いを叶えるため、その人の紹介で木原印刷（現遊文舎）に入社。初任給は、なんと95,000円。当時の木原印刷は夕方5時になると、社員がビールを飲みながら仕事をしていらしたらしい。その頃は今のよう



にコンピュータでデータを作るのではなく、写真植字機（写植機）という、和文タイプのような機械で、1文字1文字採字をして、印刷用の版下を作っていた。デザイン案1つ出すのにも、今よりはるかにたくさんの時間を費やしていた。カラープリンターが無いので、手書きのラフデザインに色紙やカラーフィルムを貼りつけ、やっとカラーでお客様にお見せできる。「昔はチラシ一枚作るのに、めっちゃめっちゃ時間がかかったんやで！」と話すその横顔は、とても懐かしそうだった。

「いつもみんなの先頭に」

気が付けばいつも“立ち上げチーム”だった本郷さん。立ち上げのための隔離されたスペースで、もくもくと、新しいモノとにらめっこだった。遊文舎に初めてパソコンが導入されたとき、初めてホームページ制作に進出したとき、初めてWindowsのOfficeソフトを扱うとき。新しいことをするときには、本郷さんが先頭を走るしかなかった。

「何をやっても目新しくて、それが面白くて。仕事だけど、遊びっぽい。しんどかったけど、楽しかった。」と誇らしげに語ってくれた。

今はデザインの一線からは退いた本郷さん。「俺はまだ遊文舎のデザイナーたちには負けへん！」と、現役デザイナーに勝る熱い思いを秘めている。ベテランVS現役デザイナー。33年間で体の芯まで染み付いたデザインのノウハウ。新旧が切磋琢磨できる遊文舎の環境が、デザイナーたちのレベルを日々上げていく。

最後に後輩に一言、「楽しんで仕事をして欲しい。好きになれる仕事しかするな。」本郷さんらしい、深くてカッコいい生き方を、私達は吸収していかなければならない。

（インタビュー：ペーやん）

本郷 正幸

Profile

趣味：家でDVD鑑賞（年間約200本）、ギター（アコースティック・エレキ）弾きながら歌います。
最近ハマっている映画：「ビッグ」←韓流、「私も花」←韓流
フェチ：音フェチ（重低音が好き。専用のヘッドフォンで感じています。）
匂いフェチ（パフューム色々持っています。）※遊文舎の女子より、本郷さんはいい匂い。
特技：楽天でお買い物（楽天といえば本郷さん！）